

平成28年度(第28回)ポンペ賞受賞者



長崎大学医学部では、創設者であるポンペ・ファン・メールデルフォルトを記念して新卒業生を対象に、ポンペ賞が設けられています。表彰状とともにブロンズのポンペのレリーフをはめ込んだ立派な楯が毎年少なくとも3名の受賞者に卒業式の日寄贈されます。

今年度受賞されたのは、西村孝真さん(1位)、森田隆太郎さん(2位)、松尾友里子さん(3位)です。そして、競技会で優秀な成績を挙げた者、又は体育系課外活動推進への貢献度が高く評価される者として、郷野すずなさんが受賞されました。6年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。

成績優秀者(学業成績 上位3位)

体育系課外活動貢献者



西村 孝真



森田 隆太郎



松尾 友里子



郷野 すずな



編集長
和田澄華(学友会 広報部)

編集部
長崎大学医学部ぐびろが丘編集部
長崎医学同窓会
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号
☎095-848-5484
E-mail: ryojun_do@ml.nagasaki-u.ac.jp

印刷
株式会社インテックス



安武先生

桜が満開に近づくころ、2017年4月5日、今年も生協パーティーが開催されました。新入生の皆様は、入学式などの行事で少々お疲れ気味…。受付を終えた新入生は所々で休憩しながら、談笑していました。時間となり、司会の医学科3年の溝淵さんと鳥谷さんの軽快な言葉のやりとりからスタートしました。まずは先端医療支援センターの安武教授より、新入生に向けてお言葉を頂きました。冗談を交えながら、医学生生活についてなどを話されていました。次に学友会会長の医学科5年の樋口さんより、乾杯をして頂きました。在校生や卒業生の皆様であればお察しの通り。ここからが本番です。在校生の部活動紹介です。今年は30団体以上の部活が参加されていました。新入生に強烈な印象を

与えたであろうと思われるのが、ラグビー部。あまりにも上手すぎるアカペラを披露するだけという演出…。他にも趣向に富んだ演出を各部活行っていました。例年と違った点の一つ。新入生は部活紹介を見る際、前の人は体を小さくして後ろが見えやすい様にしていました。最後に在校生が各部活の二次会に新入生を誘い出して幕を閉じました。樋口学友会長より、一年生に向けてお言葉を頂きました。「一年生の皆さん、新入生歓迎パーティーへの皆さんのご参加ありがとうございます。大学生活では、今までとは全く新しい環境となり、自分の自由な時間が増えたと思います。皆さんに6年間という長い時間を充実して過ごして欲しいので、興味を持ったことに積極的にチャレンジして、そこで得た経

験・出会いを大切にしてください。そうすれば自分の可能性をより広げることができると思います。皆さんのこれからの活躍を期待しています。」



学友会長 樋口さん



受付の女の子たち

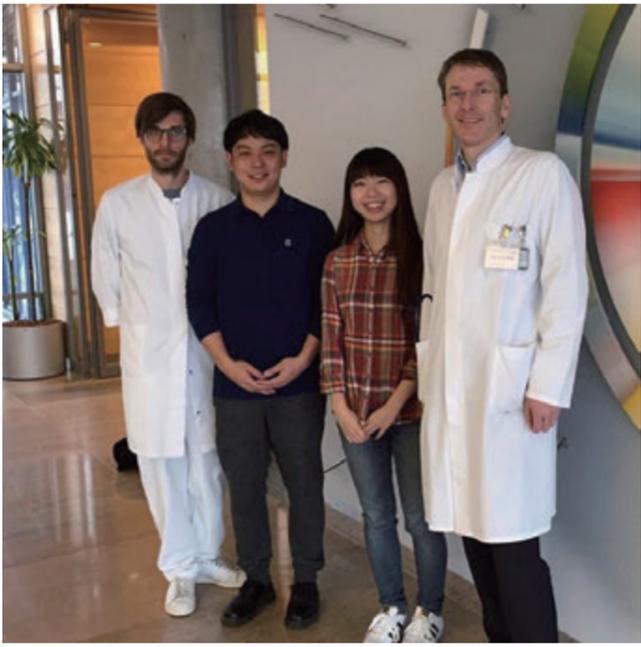
生協パーティー

リサーチセミナー 海外リサーチを終えて

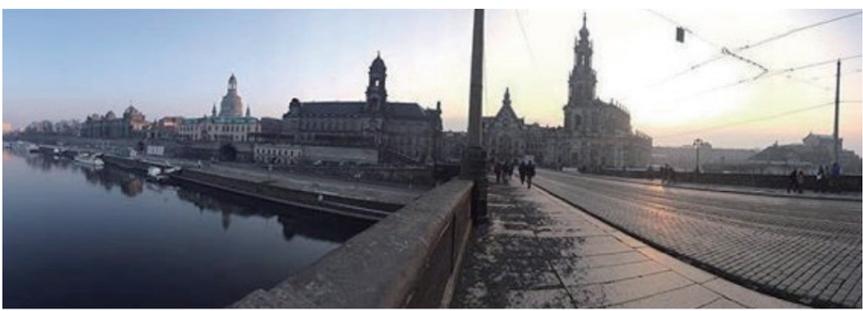
四年 古田 可奈子

こんにちは。医学科4年の古田可奈子です。私は3年後期にリサーチセミナーで2か月間ドイツのヴュルツブルグ大学に留学する機会をいただきました。ヴュルツブルグはドイツの中心都市であるフランクフルトから特急ICEで1時間の場所にあるのかな田舎町です。私の滞在した期間が1月から2月だったということに加え、この年はドイツでも近年稀にみる寒さで、ヴュルツブルグを流れるマイン川が凍ってしまう程でした。しかし人々は暖かく、主食のパンであるブレツツェルはとても美味しくなんとか生き延びることができました。

同時に行いました。今回の研究テーマは「神経内分泌腫瘍のFDG PET/CTとDOTATOC PET/CTで見るソマトスタチンレセプター発現の差」でした。核医学自体私たちにとって未知の領域で、まず初めにPET/CTの読影の仕方の基礎を先生方に教えていただくことから始まりました。他にも教授の腫瘍カンファレンスへの参加、入院患者の回診に同行、腫瘍の放射線治療の見学など様々な貴重な体験をさせていただきました。またドイツでの実習も手取り足取りやることを指示してもらおうというやり方ではなく、こちらが自由に診察室に入り診察の様子を見つつ、患者さんの病状などについて疑問に思ったことを質問していくという自主学习形式で臨床



実習を経験したことのない私たちにとっては初めに最も苦労したことの一つであり、同時に大変やりがいを感じました。また全てが英語での説明だったので聞いたことのない病名など響きを覚え、文字に書き起こしてあとで論文を読むという作業を繰り返さなければならなかったため非常に苦労しました。タイムテーブルとしては大体8時半から17時まで実習、その後先生方が診療を終え帰った後にPET/CTの読影を始めるといったスケジュールになっていました。遅い時には23時まで残ることもあり、その時には当直の先生の手伝いをして急患のお世話をしました。病院での様々な経験は全てとてもいい思い出です。様々な先生からの手助けのお陰でリサーチセミナーの報告はなんとかかまとめることができました。この結果については発表会でしっかり報告したいと思います。



休日は病院に行く必要はなかったため一緒にドイツに研究に行った布下君、出光さんと3人でドイツの大都市から田舎町まで色々なところに出かけて観光を楽しみました。町並みは非常に美しく、信じられないくらいいたくさんの教会がありました。ドイツでの1番の思い出は様々な人との出会いです。出会った人は皆温かく面白く、非常に思い出深く私の中に残っています。

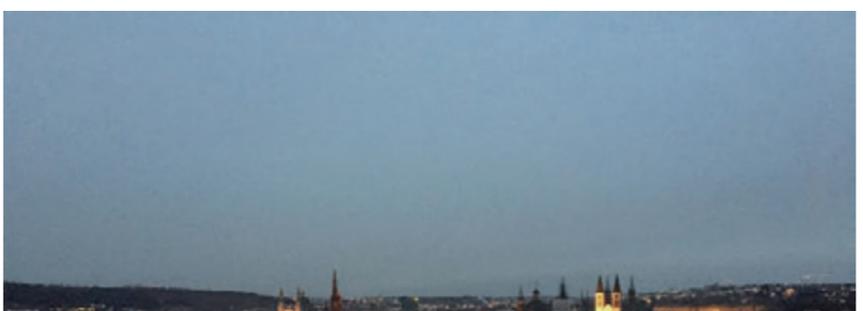
最後になりましたが、このような私の中で大切な思い出を作る機会を与えてくれた両親、この留学を本来の2倍面白くしてくれた布下君、Buck教授、Dr.Jappa、精神科の黒滝先生、留学に尽力して下さったすべての皆様に心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。

リサーチセミナー ヴュルツブルグ大学での留学生活

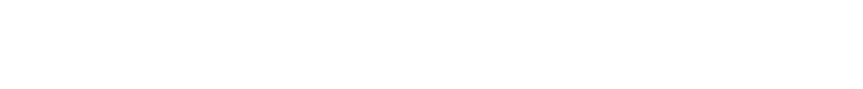
四年 出光 玲菜



2017年度リサーチセミナーで1月4日から2月末までの間、私はドイツのヴュルツブルグ大学で研究を行う機会をいただきました。ヴュルツブルグはドイツのバイエルン州の中であり、人口はミュンヘン、ニュルンベルク、アウクスブルクに次いで同州で4番目に大きな都市です。都会過ぎず、地元の方がとても優しく治安もいのでとても過ごしやすい街でした。医学部入学以前から、アルツハイマー型認知症に興味がありドイツのヴュルツブルグ大学がアルツハイマー型認知症の発見に大きく寄与したということとぜひその大で研究をしたいと思い今回挑戦しました。



私はヴュルツブルグ大学の精神科の研究室でお世話になりました。初めはアルツハイマー型認知症に関与する遺伝子について研究を行いたかったのですがそれを専門にしている方が現在いらっしやらず、NIRSを用いた脳血流の研究を行いました。アルツハイマー型認知症になると頭頂葉での空間認知機能が衰えるという予測からまず健常者での空間認知機能の実態を調べアルツハイマー型認知症の患者さんへ応用するという大きなプログラムの最初のステップとなる研究を行いました。NIRSを見たり使ったりするのは初めてで現地の担当教授に手取り足取り教えていただきながらの研究生活でした。実験を実際にスタートするまでに、まず自分で実験方法を考えるRustatuを完成させることが大変でした。実際に実験を行うときは同じ研究室にいる方々にご協力いただき被験者20人弱を集めることができました。自分の仮説通りの結果を出すことができずでしたが、将来アルツハイマー型認知症の予防につながる大切な実験であると教授も後押ししてくださった結果無事研究を終わらせることができました。



買物、観光、現地の方々の関わり全てが楽しかったです。見たこともない食材を調理したり、ドイツ伝統料理を楽しんだり毎日毎日がとても充実していました。ドイツ人と日本人の交流の場もあり友人もたくさんできました。ドイツ生活最終日が私の誕生日でたくさんの方に祝っていただいたのは一生の思い出です。

二カ月の留学は医学の分野だけでなく今後の人生にもいい影響を与えたいと思える本当にかけがえのない時間になりました。来年度以降、海外リサーチを行うおうと思っている人はぜひ挑戦してみてください。もちろん私自身も行く前は不安でいっぱいでした。ですが、経験してきた今後悔という文字は1ミリもありません。精神科の黒滝先生、楠本先生、学務課の于さん、ヴュルツブルグ大学のM.Herrmann教授、J.Deckert教授、研究室の方々、間先輩、その他関係各所全ての皆様から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

リサーチセミナー アラブ首長国連邦に留学して

四年 徳丸 綾香

私は3年後期のリサーチセミナーの期間中、アラブ首長国連邦(UAE)にあるUAE大学医学部公衆衛生学教室及び小児科学教室で一か月間研究をする機会を頂きました。研究テーマは「UAEの母子保健システム」について。母子保健の向上は世界的な重要課題とされ、各国のヘルスケアシステムを評価するための指標としても重要視されていることから今回のテーマを選定しました。UAE滞在中は、現地のHealth Authority、その他関係機関への訪問の機会を頂き、母子保健に関する取り組み、それらを実行するためのガイドライン、法整備等について教えていただきました。また、数回の診療実習の機会もいただき、母子保健サービスの実施状況等も確認することができました。



UAE大学 Main Campus



Health Authority Abu Dhabi



Abu Dhabiの Sheikh Zayed Mosque

UAEでは、近年は英語の使用も普及してきていますが、公用語はアラビア語であり、アラビア語表記のみの文書も多く、またUAEではイスラム教国であることから、(特に女性の)診療風景を外部の者が見学することは非常に難しいことです。したがって現在、UAEにおける母子保健システムに関する情報を、日本を含め諸外国から得ることはたいへん難しく、今回の現地調査は研究にとって非常に有意義なものとなりました。

また、UAE滞在中は公衆衛生学教授のDr. Shahのご協力のもと、来年度8月19日~22日に日本の埼玉県で開催されるWorld Congress of Epidemiology (WCE2017)において発表をすることを目標に、準備を進めてきました。現在も8月の発表に向けて先生とメールでやり取りをしながら準備を進めています。ここまででは私が現地で行った研究について書かせていただきましたでしたが、UAEでの生活は研究以外もとても充実していました。特に、イスラム教徒の人々と生活を共にし、彼らの価値観に触れることは私にとって初めての経験であり、とても刺激的でした。UAE滞在中はUAE大学の学生たちが暮らしている女子寮にお世話になっていたのですが、中東に位置するUAEの学生たちにとって私のような日本人女性には物珍しいようで毎晩寮に帰ると次々に学生たちが私の部屋にやってきておしゃべりの相手をしてください、UAE大学での生活について教えてくれたりしました。(ある時はどこ

からか手に入れてきたお寿司づくりセットを片手に私の部屋を訪ねてくる学生もいました(笑)イスラム文化の影響を強く受ける女子寮のしきたりで、平日女性にはあまり自由に外出することは許されていませんでしたが、彼女たちのおかげで全く退屈することなく一か月を過ごすことができました。



現地での正装をしてお世話になった先生方とdinner

今回の留学で研究内容はもとより、様々な文化やその価値観等、多くのことを学ばせていただきました。ご指導くださった高村先生、Dr.Deenasをはじめとして、多くの実務面でサポートくださった関係機関の方々、皆さまに心から感謝申し上げます。今回のリ

サーチセミナープログラムを通して学んだことを今後の勉強に生かすことはもちろん、今後のUAEと日本の交流にも携わり続けていくことで、経験を生かすことができたらと考えています。本当にありがとうございます。



Abu Dhabi

☆ズブズブ新聞を

一緒に作りませんか?!

学友会広報部は年に3回、新聞を発行しています。

新入生歓迎会をはじめ、海外リサーチ、ポンペ賞に日常生活のおこまりごと、生協のおススメ、長大生の意外な一面など、毎回盛りだくさんの情報をみなさんにお届けしています☆

部員は部活掛け持ちが多いですが、みなそれぞれ担当記事を受け持って、和気あいあいと楽しく活動しています☆

みなさん、私たちと一緒に新聞を作ってみませんか?!



☆興味がある方は、各部員までお声がけください♪ お待ちしています(^^*)

リサーチセミナー オランダ ライデン大学にて

四年 バクシ 星羅

ライデン大学でのリサーチセミナーのためオランダに3ヶ月間滞在しました。ライデン近くの町でシェアハウスをし、平日は研究のため大病院に通いました。私が通っていた循環器の臨床研究室には約30人程の医師や学生がおり、皆とてもフレンドリーで親切な方々ばかりでした。ランチタイムには皆で一緒に昼食をとり、仕事終わりにバーなどに連れて行ってくれることもありました。休日にはライデンの医学生との家族が毎週のように夕食に招待してくれたりとても良くしてくれました。オランダの食事はヨーグルト、チーズ、スープ、果物、

野菜、パンといったシンプルなものばかりで健康的で気に入りました。またオランダでは子供からご年配の方まで誰もが自転車で街中を移動しており、ジムに通う人も多く、人々がよく運動する習慣があるのはとても良い事だなと感じました。オランダでは本当に様々な人種が見られ、一人一人が異なるルーツ・外見を持っていて興味深かったです。

オランダ、ライデン大学での滞を通して特に印象に残った事が3つありました。このような学生らと出会った事はとても良い刺激となり、私も見習おうと思いました。

2つ目は、オランダではほぼ全員が流暢に英語でコミュニケーションを取れるという事です。この事は私にとって非常に助けになりました。オランダ人同士であっても私を気遣い英語でやり取りしてくれる事が多かったおかげで、私も会話に参加し楽しむことができ有りました。

3つ目は、自己責任の上で個人がより自由に行動することができるということです。オランダでは同性愛、売春、安楽死などの法律上の自由に加え、休憩時間や出勤・退勤の時間なども比較的自由だと感じまし



た。興味分野を把握し、研究の手伝いもししくは自分の研究を始めている学生が日本に比べ多いと感じました。

た。各々が責任を持って自由に生きられる環境というのはとても居心地がよく素晴らしいと感じました。3ヶ月間で多くの素敵な人々に出会い、様々な貴重な体験をできたのもとても幸せに思います。長崎大学とライデン大学のサポートしてくださった多くの方々と家族に深く感謝しています。また今後も色々な事に挑戦し続け、より多くの素晴らしい経験をしたいと思います。

長崎の素敵なカフェめぐり!!

第一弾 旧自由亭・オリンピックカフェ

長崎に来て早三年、異国情緒を感じるこの地でいろいろなおいしい食べ物食べてきました。カステラにトルコライス、ちゃんぽん、パフェ、ラーメン、コーヒーなどの...長崎大学ぐびろが丘新聞部として、皆さんに少しでも美味しいお店を伝えたい！そんな気持ちでこのコーナーを企画させていただきました。今回ご紹介するのはこの2店。行ったことがある方も行ったことがない方もぜひ一度読んでいただけると嬉しいです。

○旧自由亭

日本で初めての西洋料理レストラン「自由亭」跡であり、港を一望できる眺め抜群のおしゃれな喫茶室です。グラバー園内にあり、綺麗な花木に囲まれた西洋風の建物です。そもそも自由亭とは、江戸時代の終わりに日本人シェフによる初めての西洋レストランとしてオープンしました。シェフは出島のオランダ人のもとで修業し、オランダ公使にかわいがられ、大いに料理の腕を上げたといわれています。自由亭はたいへん繁盛し、長崎一のレストランとして、元アメリカ大統領やグランド將軍をはじめとした各国の賓客が次々と訪れるようになったそうです。自由亭オリジナルコーヒーはもちろ

ん、長崎とゆかりの深いオランダで考案されたダッチコーヒーもあります。ダッチコーヒーの淹れ方には二種類あって、ひとつは挽き豆を水に入れて数時間後に濾過する方法、もうひとつは、挽き豆に水を一滴ずつ滴下する方法です。自由亭では後者の方法でコーヒーが淹れられています。水を使ってゆつくりと時間をかけて抽出するおかげか、コーヒーのいい香り、そして甘みと苦みが引き出されているように感じました。私が行ったときに食べたのはカステラセットで、カステラの下層にはぎつしりとザラメがあり、しっかりとっていて上品な味わいでした。ぜひグラバー園に行ったときは立ち寄ってみてください。

○オリンピックカフェ

浜の町アーケード内にある長崎名物のトルコライス、ミルクセーキ、超巨大パフェの三つがあるお店です。特に1.2mの超巨大パフェがこの目玉商品です。修学旅行生が多く、みんなで大きなパフェを食べている姿が見受けられます。またトルコライスの種類も多く、いろいろなたるトルコライスを楽しめるようです。私も以前ここで食事をしたときは、3人で80cmのパフェを頼んだところおなか一杯になってしまいました。ぜひお店に行ったらこの店最大の1.2mのパフェに挑戦してみてください！



旧自由亭 外観



旧自由亭 内観



オリンピックカフェ

旧自由亭

住所：長崎県長崎市南山手町8-1
グラバー園内
TEL：095-823-8770

オリンピックカフェ

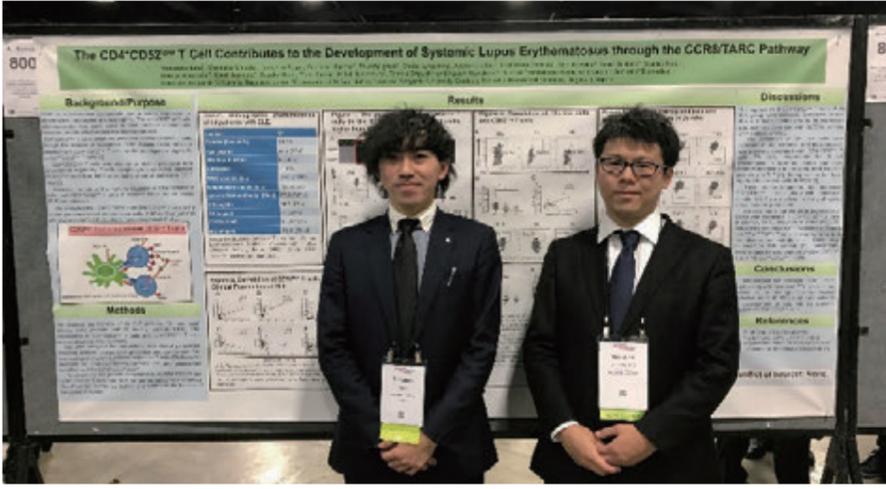
住所：長崎県長崎市浜町8-33
高橋呉服店ビル2F
TEL：095-824-3912

長崎医大生、実はこんな事やっています!!

こんにちは。医学科四年の佐藤智仁と申します。みなさん、「研究」と聞いてどういったイメージをもつでしょうか?イメージしやすいのは以前話題になった細胞研究の第一人者の山中先生や長崎大学を卒業された下村先生だと思えます。私が入学した時の「研究」に対するイメージは地味そうだな、患者さんでもないだろうし医師の仕事っぽくないな、などとあまりいいものではなく、将来医師になる身として無関係な分野だと感じていました。しかし入学して直後、合宿でお世話になった診断病理学講座の福岡先生から「うちに1回遊びにおいでよ」と声をかけて頂き、何うとその教室には研究

をいい意味で趣味のように部活のようにする先輩方がいらつしや研究の楽しさというものを少し教えて下さりました。その後、未知への探求が患者中心の医療の発展につながることに感銘を受け、ちょっと臨床の研究を深くやりたいなと思つた矢先、現在嬉野医療センターで研修医2年目の牛草先生にタイミング良く紹介を受けて、2年生の後期から第一内科膠原病内科での研究を始め、今に至ります。牛草先生は長大の卒業生で私と同じように低学年のころから研究をしていた先輩です。さて、基礎の教室の先生方だけが研究をしている、と勘違いしている人も多いと思います。大

傍ら、自分の専門分野の研究をされています。病院の上層階に大学院(ここに医局があり、先生方のデスクがあります)があり、同じ階に実験室があります。私たち4年生は臨床科は違えど6名の学生がそれぞれ研究をされており、基礎の研究室でもたくさん同級生が研究をされていて研究が活発な学年だと思えます。そういった仲間たちから刺激を受けるいい環境で研究をできていると思えます。私の研究は関節リウマチ、全身性エリテマトーデスを始めとする自己免疫疾患の臨床研究から基礎研究にまで多岐に渡り、日々新しい知識や研究手法を身につけていただいています。ここでは私が約1年半で経験したことを書きたいと思えます。研究室に出入りし始めた時は自己免疫疾患をまだ勉強しておらず、全く知識がない状態で研究室に飛び入りしました。その後は予習の意味も込めてリウマチ学のテキストや免疫学のテキスト、論文などで知識をつけ3年後期の膠原病内科担当の授業を受けました。これまでに「PCR法、Western Blotting法」、細胞培養、FACSなどの基礎研究に必要な手技を身につけ日々入院される患者さんの血液サンプルや疾患モデルマウスを用いてデータを出していくことをこれまで身につけてきました。そして製薬会社との新薬研究など大変貴重な経験をさせていただいています。さらに日本リウマチ学会総会、日本臨床免疫学会総会などの学会総会に参加するこ



学会発表の時の一枚

とで研究のupdateを知る機会を頂いています。その結果として昨年の9月には九州リウマチ学会で発表させて頂き、その後は全く別の内容で11月にワシントンDCで行われたアメリカリウマチ学会総会で英語で発表をさせて頂きました。前者の演目は「関節リウマチ合併掌腱膜症関節炎に対するトファシチニブ治療」細胞分化異常におけるJAK阻害薬の役割」という演題です。主題と言われる学会のハイライトで発表することが決まり、初めての学会発表だったのでかなりの準備(ある試験前1週間に論文15本くらい読み、両立が難しかったです)と、メンタルを鍛えて臨んだことが印象に残っています。内容としては、「掌腱膜症を合併する患者さんに抗リウマチ薬を投薬して抵抗性だったので治療ガイドラインに則り、TNF阻害薬のアダリムマブを加療したところ合併症である皮膚病変が悪化し細胞の分化に異常が見られた、それを受けて認可治療薬「JAKSTAT経路阻害薬」トファシチニブでの加療を開始したところ関節リウマチの疾患活動性が低下し皮膚病変も治癒した」というものです。アダリムマブを投与してからバイオマーカーをしていく過程で2週間に1回採血をしFACSを行い分化異常を追っていきましたので、疾患活動性がフローサイトメトリの結果に如実に反映されていたのは感動し学問的な興味もさらに湧きました。また生化学で

学んだ分子メカニズムがここまで患者さんの容態に影響を及ぼすことをリアルタイムで見れたこといい経験となりこれからのモチベーションとなりました。こちらはいつもお世話になっている古賀先生のお陰で論文としてClinical Immunology誌に掲載することができました。11月にワシントンで行われたアメリカリウマチ学会では「CD4+CD52^{low}T cell expression contributes to the development of Systemic Lupus Erythematosus」という内容です。こちらはポスター発表にあたり、さすがアメリカという日本にないスケールのコンベンションホールで発表を行いました。STEに関する研究で私が実験を始めてからずっと取り続けていたデータの集大成で、梅田先生が論文にする前に発表の機会を与えてくださりました。さて学会に行くと一つ一つの魅力に光があります。会場となったワシントンは風光明媚な場所です。記念堂やウエリントン国際墓地、スミソニアン博物館なども数え切れ



clinical immunology の Dr. G.Tsokos との一枚

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。長崎大学生協医学部店店長の村上と申します。大学生活には慣れることができましたか?新入生の皆さんには、すでに食堂をご利用いただいたり、店舗でお弁当や飲み物、クレープやパイシュー、白衣や骨学実習など授業に必要な用品などで生協をご利用いただいていると思います。このページでは、今よりもっと生協をお得にご利用いただけるような情報をお伝えしたいと思います。

★1【自動車学校早期入校キャンペーン】(新入生限定)

生協に加入されていて、7月31日に自動車学校の入校手続と登録を済ませただいた方には、もちろん『お得な生協料金』&『5,000円分生協利用券』のWサービスになります♪

生協料金は、通常の入校価格より約15,000円お安くなりますので、かなりお得です。※割引価格は自動車学校によって異なります。

また、生協利用券は、学生証(プリペイド機能)に5,000円分チャージしますので、食堂や売店どちらでもお使いいただけます。※生協利用券プレゼントは、合宿免許は対象外となります。

★3【プリペイド8%チャージ企画】やっています!

生協組合員限定! プリペイド 8% チャージ企画開催!

5月26日(金) 16時~26日(金) 16時

「こちらが早期入校キャンペーンポスターです。医学部店にて是非お申し込みくださいね!」

「このような掲示を医学部店舗店頭にて毎月掲示していますので、見てください!」

★2 書籍『共同購入』でさらにお得にお買い求めできます

組合員加入されていて、同じ書籍を【5冊以上】ご購入される際は『共同購入』というサービスを受ける事が出来ます。この場合、通常10%引なのが、なんと【12%引】にて購入いただけます!ご利用の際は、申込書がありますので、そちらをご記入ください。※教科書については、対象外となります。

★4『ひとことカード』でみなさんからの意見や声をください!

「ひとことカード」という生協への要望や声を集める用紙があります。いただいたものには必ず回答を記入した上で食堂前のホワイトボードに掲示していますので、一度ご覧ください!先輩方は「〇〇を置いてほしい!」「TVで▲▲ってお菓子を見たけど、入りますか?」「食堂の■が塩辛かった」など様々な要望から、「愛って何ですか?」「無事2年生になったので、お祝いの言葉をください」といった「ひとこと」をいただいています。また、『ひとことカード』書いてみてくださいね!

「こちらが共同購入申込書となります!」

「このようなひとことカードを設置しています!」

学生証に現金をチャージできるプリペイド機能、お使いいただいていますか?新入生の皆さんの中には「オンライン10万円チャージ」をされている方もいらっしゃると思います。学生証自体には最大3万円までチャージが可能です。※オンライン10万円チャージは、オンライン上に10万5千円あり、それをレジにてカードにチャージできる機能となります。現在、長崎大学生協では月に2回【プリペイド8%チャージ企画】を行っております。これは3000円以上チャージをされた生協組合員の方対象でチャージ金額の8%分を追加チャージさせていただきます。お得に8%分多くチャージされますので、その分お得に買い物いただけます!

さまざまな面から、新入生の6年間に及ぶ医学科の学生生活をサポートしていきますので、上手に生協を活用して、実のある大学生活を過ごしてくださいね!今後とも長大生協をよろしく願います!

長崎県内のカステラ紹介

こんにちは！今年も新しく一年生を迎え、そろそろ新しい学年にも慣れてきたころですね。
 今回からは長崎にいくつもあるカステラ屋さんについて詳しく取り上げていくことにしました。カステラが有名なことは知っていてもお店のの違いや医学部近くの店舗の場所まではよくわかりませんよね(´-`)
 コーナーを参考に今まで行ったことのないカステラ屋さんにもぜひ足を運んでみてください！

～福砂屋～
 さて、第一回となる今回は長崎県に住む人なら誰もが知っている福砂屋を紹介していきたいと思えます！
 長崎県内で何度も見かける福砂屋ですが、県内に何店舗あるのでしょうか？調べてみました！21店舗です。福岡県でも19店舗だったのでさすが長崎県発です(´-`)
 医学部坂本キャンパス周辺にはどこにあるのかというところ…浦上店とホテルニュー長崎の売店が最寄り店舗のようです。
 カステラはもともとス



(福砂屋HPより)

カステラの底に双日糖が授けられた
 糖り減らされた中にも残っているのが
 長崎カステラの特徴です。
 伝来の古法を守り、丹精こめて焼きあげる、
 手づくりならではの味わいと存じます。

ペインやポルトガルの南蛮菓子として長崎に伝来、日本文化と融合して現在のカステラが生まれたそうです。創業1624年の福砂屋さんはこの過程に深く関わったのでしょうね！
 製法では、手作り、厳選素材、ふくらしつくりの仕上げ、ザラメにこだわって作られているそうです。私は最近カステラは食べていませんが、福砂屋は確かに卵の味とザラメが記憶に残っている気がします
 医学部からは最寄り店舗に20分かかるずに行け

るので皆さんぜひこの機会に足を運んでみてください！
 最後に自分がへーと思ったクイズを福砂屋HPから引用しておきます。

Q:長崎にカステラ屋さんが多いのはどうしてですか？

A:鎖国という体制の中で、長崎だけは国際貿易都市として、海外文化を受け入れ、カステラの製法に欠かせない砂糖も豊富にありました。1571(元龜2)年、開港とともに賑わいはじめた長崎は、東と西の文化の出会いによって、早くから海外の情報を受け入れ、南蛮人との交流がありました。それだけに、長崎の人がカステラをつくって

みよつと思つたとしても不思議ではありません。それが長崎名物の土産として定着して現在に続いているのだと思います。
 Q:どんな人が食べていましたか？
 A:16世紀から17世紀頃では砂糖や卵は貴重品だったので、王族や貴族、宗教関係者など裕福な人々のみが食べる贅沢なお菓子でした。一般の人々は復活祭など宗教的な日や結婚式などの特別な日だけに食べることで

(参考:福砂屋HP)

～生麩の田楽白みそとろり～



どうでしたか？すっごく簡単にできちゃいそうでしょ(´^^`)?
 生麩は栄養価ばつぐん!初めての方はもちろん、毎日のお料理が同じものの繰り返しで退屈～という方、たまには気分転換にちがう食材にチャレンジしてみたいかがですか?

○手順

- ①生麩はそれぞれ2cm幅に切ります。
- ②Aの材料を耐熱容器に入れて混ぜ合わせ、電子レンジ500Wで10秒加熱します。
- ③フライパンにオリーブ油をひき、麩の断面を焦がさないように気を付けながら、中火でこんがり焼き色がつくまで焼きます。
- ④器に盛り、上から②、いりごまをかけます。
- ⑤できあがり♪

○材料(2人分)

- よもぎ麩3分の1本、あわ麩3分の1本
- オリーブ油小さじ1
- A=白みそ大さじ1と2分の1、みりん小さじ1、水小さじ1
- 白いりごま適量

+α お麩の豆知識

麩は中国から伝わった当初、天皇や貴族しか食べることのできない高級食品でした。後に厳しい修行を行う禅寺で精進料理として食べられるようになりました。肉や魚を食べられなかったお坊さん達にとって、麩は貴重なタンパク源だったのです。江戸時代後期になって一般庶民の口にも入るようになりましたが、料理に用いるよりもお茶菓子として食べられることが多かったようです。現在ではお料理にお菓子にと様々な使い方をされているお麩。歴史を振り返りながらいただくのも楽しいですね。

はじめてのレシピシリーズ

♡一人暮らしのお料理♡

「また新しい季節がめぐってきました♡」
 新入生のみなさん、はじめまして!ご入学おめでとうございませう。そろそろ大学生活にも馴染んでこられた頃でしょうか?さて、中には一人暮らし初めての方もいらっしゃるはず!一人暮らしして慣れない内はたいへんですよ。学校やバイト、部活で料理をさぼりがちに…。パッと簡単にできて、美味しく、しかも栄養ばつちり料理があれば…
 このレシピコーナーでは「**ぱぱっと♡簡単に♡おいしい♡をテーマに、毎回レシピを紹介しています。**」
 新生活のおともにもしてもらえたら嬉しいな♪
 さあ、たのしいお料理の時間です☆



編集後記

また新しい季節が回ってきましたね♪新入生のみなさん、初めまして!長崎出身の方もそうでない方も、長大によろこしいらっしゃいます。たろり大学生生活には慣れてきましたか?☆今号はみなさんの「初めての暮らし」を応援する企画がいっぱいです。ぜひ一度読んでみてくださいね!また広報部は仲間を募集中。すてきな新聞、一緒に作ってみませんか? (和田澄華)

こんにちは!!早くも三年生になってしまいました…白井です。新入生の皆さん御入学おめでとうございませう。部活やバイトで新しい仲間をたくさん作って楽しい大学生活にしてください!!新聞部も新入生大歓迎です!! (白井貴浩)

とうとう三年生となりました、大熊です♪新入生のみなさん、ご入学おめでとうございませう!かわいい1年生ばかりで、これからはとっても楽しみです♡美味しいごはん、綺麗な風景、たくさんのお祭りなど、魅力がいっぱいのこの長崎で素敵なキャンパスライフを一緒に送っていきましょう! (大熊伶)

四年前期のテスト日程に怯える松島です。新入生ご入学おめでとうございませう。大学生活は部活に、バイトに、恋愛に、と忙しくされる方も多いいと思いますので時間を大切に!! (松島俊樹)

同じく四年前期のテスト日程にもはや拒否反応を示している熊谷です。新入生の皆さん、入学おめでとうございませう! (熊谷知香)

遊ぶるうちに遊んどきましょ! (熊谷知香)

お久しぶりです。ついに5年生になってしまいました、荻野です。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう!大学生活は慣れてきたでしょうか?部活に入ったり、バイトを始めたたり、新しいことに挑戦して、充実した大学生活を送ってくださいね。 (荻野恵梨)

5年生になり、病院実習が本格的に始まりました。ある科でこの新聞を毎回来しみにしてくださいませう先生にお会いするとうとうと嬉しいう出来事がありました。これからますます実習も新聞作りも頑張ってくださいませう! (山本侑季)

ついに6年生になりました。先日行われた第一回卒業試験も無事に終わり少し安堵しています。今年も勉強漬けの1年になりそうです。学生最後の年なので悔いのないよう楽しんで過ごそうと思っています! (野本和宏)